

ひがしそのがき



# 議会だより

第 145 号



音琴小学校卒業式（3月19日）

## 3月定例会

平成26年度当初予算 ..... 2～4ページ

条例改正 ..... 5～6ページ

一般質問（6名） ..... 7～9ページ

町民の声 ..... 10ページ

## 公共用地等取得造成事業特別会計

予算総額1034万5千円であり、瀬戸郷（千綿紡績跡地）に宅地分譲のための測量設計業務委託料が計上された。

## 国民健康保険事業特別会計

急速な少子高齢化の進展、経済の低迷、医療費の増加等、極めて厳しい財政運営を強いられている。これらを踏まえ国税収納率向上や特定健康診査の強化などに取り組まなければならない。

予算総額は前年度比4027万4千円増の12億8157万4千円が計上されているが、療養諸費等の大幅増が予想されるため、財政調整基金の取り崩しなど厳しい予算である。

## 介護保険事業特別会計

高齢化が進行し介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、高齢者の介護を社会全体で支えようと創設された介護保険制度も15年目となるが、高齢化率の向上、要介護認定者の増加等を見込んで前年度実績を基に8億5000万円計上された。

## 後期高齢者医療特別会計

主な歳入は75歳以上（65歳以上で認定を受けている者を含む）の被保険者から徴収する保険料と一般会計繰入金である。

歳出の主なものは長崎県後期高齢者医療広域連合へ納付する事務費負担金及び保険料等納付金で予算総額9850万円が計上された。



# 平成26年度当初予算を可決！

## 一般会計

# 総額 45億6400万円

### 主な内容

一般財源は地方交付税、財政調整基金繰入金の増で5377万5千円増の31億7648万8千円、特定財源については、国庫支出金及び繰入金の増により7222万5千円増の13億8751万2千円となっている。

歳出について、性質別では増となっているものは、保育所運営費や障害福祉サービス給付費の増、子育て世帯臨時特例給付金（対象児童1人につき1万円）の増、小中学校パソコンリース料や浄化槽設置整備事業補助金や道の駅食堂棟新築工事などの増である。

## 道の駅に食堂棟建設決まる！

### 総務厚生と産業建設文教の連合審査会で公募のあり方に異議

昨年9月の公募においては、株式会社 彼杵の荘のみが応じられたが、その時点では現在の設計のようにはなっていなかったのではないかと質疑があったが、実際に経営される方の意見を聞いて、工事が手戻りにならないようにするのが当然との答弁。

民業圧迫が危惧されるという意見に対しては、食堂棟がそうであるとは考えられないし、その他にさまざまな要因があるのではないかと、また、約100万人の交流人口があるのに、何もしないと町は衰退していくことが考えられるとの答弁。

### 総務厚生委員会より附帯決議案2件提出されたが、本会議でいずれも否決！

○千綿駅浄化槽設置工事について、多額の町費を無駄にすることがないように、飲食店経営者に対し一定期間の営業確約および不履行責任を書面で明確にするよう厳に求めるとともに、それまでは予算執行しないこと。なお予算執行にあたっては、事前に内容を知らされたい。（発議第1号）

○町営バス臨時運行業務委託料については、町営バスを臨時的に使用して業務委託することは道路運送法に抵触する恐れがあるので、町直営で運行するよう予算執行されたい。（発議第2号）

# 議員報酬に関する条例の一部改正

昨年12月の議会に発議9号と10号で議員報酬に関する条例改正案が提出されました。議員報酬審査特別委員会を設置し、11名の委員で審査を行い、今議会に委員長報告を受け採決を行いました。

## 発議9号

議員報酬を恒久的に10%削減の条例改正

### 反対意見

議員報酬は町条例で特別職報酬審議委員会で審議すべき事と定められていて、他の特別職とのバランス等を総合的に判断すべきではないか。現職議員の任期中であれば、附則の改正にとどめるべき。10%削減の算定根拠が明らかにされていない。

### 賛成意見

他の特別職に波及というのは別問題、逆に上げるべき特別職もある。恒久的な報酬削減をするという覚悟がなければ町民の理解が得られない。

## 発議10号

議員報酬をH26.4からH27.4までの期限付きで20%削減する。

### 反対意見

削減額が20%は大きすぎるし、議員も自ら身を削るという事から任期中ではなく恒久的にすべき。

### 賛成意見

条例を改正すると他の特別職等に波及するので附則で改正する。財政的にも定数2名削減相当の報酬20%削減すべき。

### 賛否表 (賛成○、反対●)

	堀	橋村	浪瀬	福田	滝川	吉永	佐藤	樋口	岡田	後城	本下
発議9号	○	○	○	欠	○	●	●	○	●	○	●
発議10号	●	●	●	欠	●	○	○	●	○	●	○

### 附帯決議 賛否表 (賛成○、反対●)

	堀	橋村	浪瀬	福田	滝川	吉永	佐藤	樋口	岡田	後城	本下
発議1号	●	●	●	欠	●	○	●	○	○	●	○
発議2号	●	●	●	欠	●	○	●	○	○	●	○

## 簡易水道事業特別会計

予算総額は、歳入歳出それぞれ4億2692万円で前年度に対し2億4246万8千円の(131.5%)の増である。歳出の主なものは、総務管理費等で4400万7千円、建設改良費2329万円、元利償還費406万7千円と、新規事業の統合簡易水道事業1億200万4千円、彼杵・千綿簡易水道基幹改良事業1億4601万6千円等である。歳入については、水道料金収入見込み額を1億3974万円、一般会計繰入金4710万5千円等が計上された。

## 農業集落排水事業特別会計

予算総額は、歳入歳出それぞれ4550万円で前年度に対し350万円(8.3%)の増である。歳出の主なものは総務管理費12万6千円、運営費397万円、維持管理保守委託料1277万9千円、元利償還費2676万3千円等である。歳入については、中尾・西部地区の使用料700万1千円、一般会計繰入金3158万5千円、県補助金687万円等が計上された。

## 漁業集落排水事業特別会計

予算総額は、歳入歳出それぞれ920万円で前年度に対し150万円(19.5%)の増である。歳出の主なものは総務管理費3万5千円、維持管理費545万4千円、元利償還費339万7千円である。歳入については、一般会計繰入金599万3千円と使用料及び手数料250万8千円、県支出金69万円等が計上された。

## 公共下水道事業特別会計

予算総額は、歳入歳出それぞれ4億2750万円で前年度に対し470万円(1.1%)の増である。歳出の主なものは、総務管理費1992万5千円、維持管理委託料3495万1千円、管渠工事請負費2億2503万7千円、工事に係わる水道管移設補償費799万2千円、元利償還費9655万6千円である。歳入については、分担金及び負担金436万6千円、使用料及び手数料3303万5千円、国庫負担金1億1400万円、一般会計繰入金1億6829万2千円、町債1億780万円が計上された。



# 東彼杵町第5次基本構想の策定

東彼杵町では平成18年度に町の将来像とする第4次基本構想を策定し、計画期間を平成18年度から平成27年度までの10年間としました。新たな総合計画に早期に着手するため第4次基本構想の期間を1年繰り上げ、平成26年度を初年度とする第5次東彼杵町総合計画が策定されることとなりました。第5次東彼杵町総合計画は平成26年度から平成35年度を目標年度とする10年計画で策定し、総合計画審査特別委員会に付託され審議されることになりました。

なお、今回の総合計画策定に当たっては、町内各地区から公募、推薦された「まちづくり委員」の協力と全国の市町村でまちづくり計画を作成している「studio-L」に2年間の業務委託をして策定されました。

## 町長の4月分の給料を70%減額する条例改正



現在町長の給料は50%減額となっているが、平成9年から平成25年まで九州旅客鉄道株式会社に対する固定資産税の課税誤りという職員の不幸事に関して、道義的責任をとるため、さらに20%の上乗せ減額をして、付加金260万円の補てんの一部とするためである。

## 東彼杵町定住化促進条例の一部を改正する条例

少子化が進行する中、子供を持つ世帯の持ち家奨励金を増額することで、子育て世帯への支援を強化し、少子化対策と本町への定住促進、人口減少の抑制に寄与するため。（平成26年4月1日より）

高校生以下の児童・生徒1人につき **5万円** → **10万円**



### 一般質問

（本稿は質問者の責任で作成しています）



本下 利之 議員

#### 「ゾーン30」規制の必要性について

【議員】町道宿7号線と町道西部3号線に係わる金谷地区、本町地区、東町地区の生活道路は、出勤時間帯には、国道の渋滞、混雑を避けるために、「通り抜け道路」として多くの車が通行し、離合困難な道路での速度違反やあおり運転で、歩行者等の安全が脅かされているのが現状です。歩行者の安全と生活環境の安全・安心を確保する為に規制が必要と考えますが、

【町長】必要性は実感している。道路の危険性を再点検して、できるだけ

早く行政が先頭になり協議会を設定し、各地区長さん、警察署のご協力を得て推進したい。

【教育長】子ども見守り隊や地区長さんの引率で、子供たちは安全に登下校しています。通学路としては危険を感じている。出来ることなら早めに規制を望みます。



#### 幼児・児童の歯の健康づくりについて

【議員】長崎県歯・口腔の推進条例が制定されていますが、乳幼児期からの虫歯予防は大変重要な生活習慣だと感じます。子供たちが自分で自分の



健康管理ができるように学ぶことは、健康で生涯を過ごすことに繋がります。本町での取り組み状況は。

【町長】フッ化物洗口推進事業は準備が進んでいる。引き続き歯科医・保護者、町民生活課で勉強会をし、補助事業を活用し推進したい。

【教育長】母体は町民生活課になります。課と検討しているところです。養護教諭の勉強会でフッ化物洗口での危険性が指摘されたとも聞きました。事故は想定できないので、まだ研究の余地があるように思います。今後は歯科医と勉強会を交えて連携を強化して推進したい。



橋村 孝彦 議員

#### 議員報酬と区長等各種団体手当との整合性は

【議員】議員報酬はどのような経緯で決定されたのか。

【町長】地方自治法に基づき条例を定めて決定される、町長が必要と考えられると特別職報酬等審議委員会の意見を聞くことが出来る。

【議員】議員報酬が削減された場合、区長等各種団体手当に何か影響するの。

【町長】影響しない。

【議員】議員報酬削減分を各種団体手当等に上乗せ可能か。

【町長】直近には出来ないが区長さんを例に取れば

ば従前とは違い仕事量が大幅に増えているので慎重に取り扱いたい。議員報酬も削減されたので有効に活用したい。

#### 地方分権は今後、推進すると考えるが見解と対応は

【議員】我が国は明治以来、中央集権型行政システムであったが平成12年4月1日に地方分権一括法が施行され今後さらに推進されると考えるが地方分権は財源移譲、権限移譲であり地方自治体の自己決定権、自己責任に基づく地方自治を目指すものであり首長や職員は勿論、議会の責任が重くなり意識改革が求められると考えるが。

【町長】安倍首相も魅力ある地域づくりの為、自分の任期中必ずやりたいと言われており私達にとっても住民の一番身近な所で決定される事が悲願であり地方の事は地方で決める責任ある自治を望みます。

【議員】分権型システムは自立が課題であり今後は民間会社の競争原理型で地域間競争により本町の魅力を発信し定住人口増等による自主財源増を模索すべきでは。

【町長】当然、財源確保は重要であり課題だが何らかの方法を模索したいが専門職員が不在でありやれない部分も有るので対応出来る職員を育て職員共々推進したい。





佐藤 隆善 議員

米の減反廃止による町の農業振興策は

【議員】米の価格が下落しない様に国が生産量を抑える減反政策が平成30年度までに廃止される事になりました。40年余りの間に幾度も廃止論が浮上しながら農家等の反対で潰されてきたが昨年10月の、産業競争力会議で委員の提案を国政選挙の公約にもなく事前の協議もないまま12月には平成26年度からの廃止に向け事務要項が決められました。本町に於いても、基幹作目として米が広く耕作されていきますが次の事について質問します。

- ①基本的な農業振興策は
②転作水田の耕作は
③防災面からの取組みは
【町長】政策が、急に変更されたので実行組合



岡田伊一郎 議員

コンパクトな町は

【議員】生活に必要なサービスを効率的に受けられる中心地をつくり出すため、予想される人口減少に合わせた市街集約を行い、町を小さくつくり直すことも将来構想として考えておくべきだと思ふが。

【町長】住民の方に一か所に集まってくれというのは無理だが、新たな町営住宅の建設などはできる。人口減対策は方法がない。しかし、交通の利便性を活かし転入者の促進対策や将来、町出身の方に帰ってきてもらえるような対策を行いたい。
【議員】移転する場合などの課税や用地を提供し

議等を通じて制度変更の説明を、行っていきたい。米作は農業の基本作物で収入が増加する様に進めたい。

- ①後継者を育成し、自然農法を取り入れグリーンツーリズム等で、農業の振興を図りたい。
②施設栽培を除いて収入増につながる作物を推進したい。
③自然ダムとして保全必要なので、耕作放棄地にならないように関係者と協議していきたい。

【議員】平成26年度から減反農家への補助金1万5千円が、7千500円になり飼料米は、補助金が増加するが販売先を生産者が見つけなければならぬ等、農業者の負担が多い。25年度まで転作していた水田は保水能力が低下して水路の維持等多くの問題が出てくるが、対策はどのようなか。

【町長】事前の協議はなく昨年の12月に決められた政策変更であるので、詳細につきましては今後の方針を見ながら意見や

た人の売却益にかかる税金などの軽減措置については。

【町長】そういう施策も今後検討していく。

【議員】道の駅を中心とした福祉対応型商店街構想については。

【町長】福祉対応型については、当然に取り組んでいきたい。



英語力育成のサイト利用を

【議員】県教委は、子どもの英語力を育成するインターネットサイトを作成し、4月から運用すると報道されたが、中学校での対応は。

【教育長】パソコンを更

要望を伝え、対策を協議したい。

【議員】減反の補助金により耕作していた水田が放棄された時や、水路・ため池・農道等の維持が出来なくなる場合もあると思われ平成30年度以降耕作放棄地が増加する事がないように町で取り組みを強化願いたい。



【町長】事前の協議はなく昨年の12月に決められた政策変更であるので、詳細につきましては今後の方針を見ながら意見や

いる。教職員もネットサイト活用部研修会に参加しているし、グローバル化に対応した英語力を身につけるため、中学校では授業を英語で実施することが計画されている。

【議員】情報通信技術教育の強化という国の方針を踏まえた人材育成サイトはスマートフォンなどを使った家庭での利用を促すとなっているが。

【教育長】武雄市がかなり進んでいるが、予算が許せば、情報教育についてスマートフォンを活用したものも取り組みたい。



【議員】移転する場合などの課税や用地を提供し



浪瀬 真吾 議員

学校統廃合について

【議員】我が町の人口も年々減少し、昨今の出生数は毎年40〜50人となっている。将来を担っていく子ども達のより良い教育環境を鑑みる時、2年を超える教育委員会との調査研究を重ねて来た。教育委員会では、統廃合については、当初基本方針としては、中学校を先にして、その後様子を見ながら彼杵地区の小学校を統合するとの説明だった。

【町長】それぞれ説明会もあるが彼杵地区の3校を1校に統合するという事で教

育委員会の方から行政改革案が発表されるので、速やかに議会の方には上程したい。中学校については、状況を見極めたい。今、答える時期ではない。

【教育長】中学校を1校にする事については、千綿地区の保護者や地域のご意見で反対や慎重論がほとんどであった。PTAや地域で十分協議してもらい理解を得るためには、まだまだ時間がかかる。小学校については、来年度大楠小学校に2つ目の複式学級が出現するので、早急に適正化を図る必要があると判断し実施する事になった。

【教育次長】関係する校区の地域・保護者の理解が得られれば議会に条例改正をお願いしたい。統合に向けての作業部会を設け各校のすり合わせをする。

【議員】統廃合は、最重要課題と思うが、町長の考え方はどうか。

【町長】人の意見も聞くことが大事で、20年30年後の学校でピリオドを打つか、今打つのか見極めたい。

【議員】生徒数も減ってきており、互いに切磋琢磨する環境を整っておらずクラブ活動も選択肢がない中で、

直しを検討・推進されているが、26年度の計画はどうなっているのか。

【町長】航空写真上で着色して住民との話し合いをしたいと思っている。その後、県との協議に移り、調整して26年度中に仕上げたいと思っている。

【議員】千綿紡績跡地については、私の一昨年6月や昨年12月の一般質問では企業誘致をしたとの答弁でした。しかし今回の施政方針では宅地分譲計画に変わっている。計画変更の経緯及び今後の計画は。

【町長】昨年の時点では企業誘致・宅地分譲のどちらも考えられたが、農学園は企業誘致、紡績跡地は景観がいいので宅地分譲にと考えを変更した。

【議員】ここは現在、3地区の高齢者の皆さんがグラウンドゴルフをされており、健康維持や介護予防にも役立つと思われれるが、代替地は。

【町長】住民の皆さんと充分話し合いをするつもりである。

【議員】瀬戸地区は公共下水道の要望が強く、宅地になると生活排水などの懸念があるのでは。

現実を直視しなければならぬが、町長部局と教育委員会との話し合いは何度ぐら

【町長】教育委員会で、協議しないと決断できない。彼杵地区の3校の合併案と行程案を以って打ち合わせを1回しているが、即決で認めて、6月に上がるのではないかと判断をしている。中学校については、町民の方に説明会も意見交換会もしていない。女性対話集会では、反対意見も賛成意見も有る。

【議員】教育長として、今の現実を見たときにどのようなと考えておられるか。

【教育長】最初の基本方針の通りである。

【議員】もっと各地区に向いて説明会を開き、少人数学級の解消に努める事が出来ないか。

【教育長】継続して理解を求めるために向いたりしながら理解を得る。



【町長】入居者の方には高度処理のできる合併浄化槽の設置をお願いするつもりである。

千綿駅の整備計画は

【議員】情報発信や交流の場として千綿駅を整備して、その活性化の中心となるのが「千綿駅ファンクラブ」などのNPOとすることでその構成委員は。

【町長】千綿地区の皆さんで構成委員を作ってもらいたい。

【議員】昨年から公言されている「うどん屋さん」はどうなっているのか。

【町長】出店希望者はぜひ、やりたいとのことであるので話を進めていきたい。

【議員】昨年9月に可決された展望台の計画が撤回されたが、なぜか。

【町長】地区の話し合いや専門委員の意見を参考にし



# 町民の声

蔵本郷 澤登 舞

この町に来て丸2年が経った。  
 .....  
 引っ越してきた当初 よく言われた言葉がある  
 .....  
 (何もない町でしょう どうして東彼杵町に来たの?)  
 .....  
 私は埼玉から来ました。もちろん 埼玉よりお店などは少ない  
 .....  
 でも、大切なものが沢山ある  
 .....  
 町の人は皆 親切で優しい そして輪を大切に  
 .....  
 大人は子供達を気遣い地域みんなで見守っている  
 .....  
 小さい子から大きい子まで一緒に遊ぶ姿は心温まる光景だ  
 .....  
 目の前には海 後ろには山 段々畑に 青い空  
 .....  
 人の温かい心 自然豊かな優しい町 東彼杵町  
 .....  
 この町の良さに もっと多くの人に触れてもらいたいと思うこのごろです。  
 .....




議会広報編集常任委員会

委員	副委員長	委員長	橋村 孝彦
岡田 伊一郎	佐藤 隆善	吉永 秀俊	浪瀬 真吾
			滝川 初夫



**町民の声 大募集!**

議会だよりへ掲載する町民からの声を募集しています。ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。